



町内主要河川の水質調査における生物化学的酸素要求量(BOD)の経年変化

○概要:町内の主要河川の水質の推移を把握し、公害対策の一資料とするため年4回の調査を実施しています。

町内の主要河川の水質調査を行い、水質の目安となる生物化学的酸素要求量(BOD)値による経年変化を表示しています。

調査を実施している中では、余市川だけが生活環境保全に関する水域類型の指定を受け、環境基準の適用を受けています。

なお、余市川については、水道水源として取水を行っていることから取水口地点より上流側はAA類型指定、下流側についてはA類型指定となっています。

○結果:河川の汚濁の指標となるBODの値について、令和5年度は登川がC類型、その他はA類型の基準値内となっています。

※生活環境の保全に関する環境基準のうちの生物化学的酸素要求量(BOD)基準値

・AA類型	水道1級(簡易な浄水操作)、自然環境保全	生物化学的酸素要求量(BOD)	1mg/L以下
・A類型	水道2級(通常の浄水操作)、水産1級(ヤマメ、イワナ等の水産生物用)、水浴、自然環境保全	生物化学的酸素要求量(BOD)	2mg/L以下
・B類型	水道3級(高度の浄水操作)、水産2級(サケ、アユ等の水産生物用)、工業用水	生物化学的酸素要求量(BOD)	3mg/L以下
・C類型	水産3級(コイ、フナ等の水産生物用)、工業用水1級(通常の浄水操作)	生物化学的酸素要求量(BOD)	5mg/L以下
・D類型	工業用水2級(高度の浄水操作)、農業用水	生物化学的酸素要求量(BOD)	8mg/L以下
・E類型	工業用水3級(特殊の浄水操作)、環境保全(日常生活において不快感を生じない限度)	生物化学的酸素要求量(BOD)	10mg/L以下